

郊外コース

まちなか伝説コース

薬師寺(寺開元三火師)



鎮足寺



(台「雄著」足利の伝説」などを参考に)

利性院(間寛堂)

逆川

ばん なじ
鏝阿寺の伝説

昌家町2220

足利市民に「大日様」と呼ばれ親しまれているばんな寺は伝説の宝庫でもある。中でも「ばんな寺の七不思議」は、ぜひ確認をおすすめしたい。まずは足利義兼夫人時子姫にまつわる「蛭子さま伝説」「あかすの井戸」「逆さ藤天神」「牛裂地蔵」や「鬼の義兼」、「あかざの柱」、「大いちょうの白蛇」などが残されている。



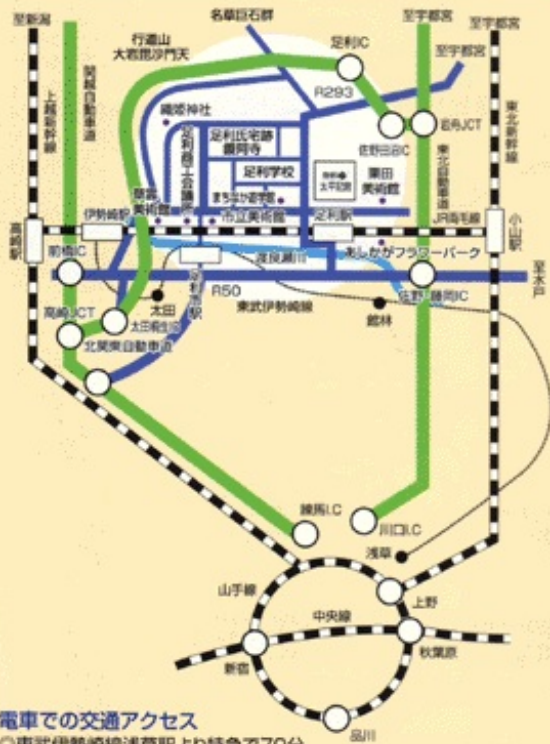
かな ふり まつ
足利学校の字降松

昌平町2338

日本最古の総合大学「足利学校」の学校門をくぐると正面に杏壇門がある。その手前右側にある松が字降松。「読めない字を紙に書いて松の枝に結んでおくと、翌朝にはその字にふり仮名がついていて、字が読めるようになる」という400年前からの言い伝えである。



足利への交通アクセス



電車での交通アクセス

- 東武伊勢崎線浅草駅より特急で70分
- JR両毛線小山駅より約50分
- JR両毛線高崎駅より約50分

お車での交通アクセス

- 東北自動車道 佐野・藤岡ICより約30分
- 北関東自動車道 足利ICより中心街へ約10分

行政機関

- ・足利市観光交流課(太平記館) TEL 0284-20-2165
- ・足利市観光協会 TEL 0284-43-3000

足利市のすべてがズバリわかるホームページ あしすバツ!
<http://www.ashikaga.info/ashizuba.html>



足利商工会議所 TEL.0284-21-1354

〒326-8502 栃木県足利市通3丁目2757

(平成23年栃木県商工団体地域貢献活動促進事業)

回遊コース付近のお店

※地図内の番号でご確認下さい。

おすすめ! お食事処

- | | | |
|---------------------------|--------------|---------------|
| 1 亀鶴寿司
[すし] | 五十郎町164 | ☎21-6722 |
| 2 順寿司
[すし] | 鹿島町1111-2 | ☎62-2800 |
| 3 磯庵
[創作料理] | 鹿島町738 | ☎65-4060 |
| 4 ラーメンハウスばろっく
[中華] | 山下町1053-3 | ☎62-2910 |
| 5 すし いし川
[すし] | 大前町848-4 | ☎62-4115 |
| 6 加一
[和食] | 大前町435 | ☎62-0648 |
| 7 きりこ
[お好み焼] | 大前町975 | ☎63-2372 |
| 8 鈴の木
[和食] | 大前町迎田460-3 | ☎62-4050 |
| 9 グリル伴兵衛
[洋食] | 大前町898-1 | ☎62-6958 |
| 10 そば処ながたけ
[そば] | 業鹿町1丁目32-7 | ☎62-7123 |
| 11 東葉館
[和食] | 業鹿町1981 | ☎62-0136 |
| 12 炭火苑
[焼肉] | 西砂原後町1176 | ☎43-2989 |
| 13 手打ちラーメン権屋
[中華] | 大橋町1丁目2005-3 | ☎080-457-4318 |
| 14 加もち
[和食] | 久松町21 | ☎41-2359 |
| 15 焼茶そば 茶茶
[焼きそば] | 助戸1丁目564 | ☎44-2534 |
| 16 イタリアンレストランソロ
[洋食] | 助戸町1丁目614 | ☎43-2382 |
| 17 ラーメンあじ平
[中華] | 助戸1丁目614-1 | ☎44-0330 |
| 18 田舎屋
[和洋食] | 寺岡町648-1 | ☎91-0514 |
| 19 日本そば・うえたけ
[そば] | 常見町2丁目3-16 | ☎42-4166 |
| 20 レストランテラ・ヴォーノ
[洋食] | 山川町524-8 | ☎42-7009 |
| 21 さんどん
[中華] | 山川町70-7 | ☎41-6345 |
| 22 まるしま
[中華] | 山川町74-1 | ☎41-1712 |
| 23 和風レストラン・加茂川
[和食] | 福居町1278-5 | ☎72-5252 |
| 24 里しょう庵
[そば] | 朝倉町803-3 | ☎72-3007 |
| 25 力寿司
[すし] | 朝倉町765-5 | ☎71-3744 |
| 26 竹重
[和食] | 田中町32-16 | ☎72-7265 |
| 27 カフェ・ド・ブルメリア
[洋食] | 朝倉町257 | ☎73-9427 |
| 28 CLOCK Cafe
[洋食] | 朝倉町257 | ☎73-5563 |
| 29 れんが
[かつ] | 朝倉町394-3 | ☎71-1129 |
| 30 あけみ寿司
[すし] | 朝倉町2丁目12-9 | ☎73-0766 |
| 31 カフェドワルツ
[喫茶] | 朝倉町3丁目21-16 | ☎72-5286 |
| 32 欧風カレー工房フォンテーヌ
[カレー] | 朝倉町3丁目8-27 | ☎73-8910 |
| 33 Market112
[洋風居酒屋] | 八幡町1丁目12-19 | ☎22-6281 |
| 34 穂高
[焼肉] | 八幡町2丁目6-9 | ☎71-0603 |
| 35 こじまや支店
[うどん] | 堀込町2911 | ☎71-2674 |
| 36 キャベツ家
[お好み焼] | 八幡町243-5 | ☎71-3088 |
| 37 丸屋ラーメン
[中華] | 八幡町1丁目21-4 | ☎73-0332 |
| 38 割烹相乃川
[和食] | 通3丁目2781 | ☎21-9988 |
| 39 輝寿司
[すし] | 巴町2539 | ☎21-0303 |
| 40 キッチンおもだか
[洋食] | 通2丁目5-5 | ☎21-3574 |
| 41 麺や松
[中華] | 伊勢町1丁目2-1 | ☎43-2117 |
| 42 とんかつ栄
[とんかつ] | 伊勢町3丁目11-12 | ☎42-0541 |
| 43 第二鳥常
[うなぎ] | 伊勢町1丁目4-12 | ☎41-6644 |
| 44 クチーナ・カーサ
[洋食] | 伊勢町4丁目4-20 | ☎42-7422 |

大手神社 五十郎町375

足利赤十字病院のすぐ北側にある神社で、地元の人には「大手さま」とも呼ばれる。昔から手先の技術を上げたいという人や手に関する病氣・怪我、さらに字が上手に書けるようになどという人たちに「手の神様」として信仰された。「手首」や「手形」の絵馬をあげる風習がある。



縁切稲荷(門田稲荷)/下野国一社八幡宮

八幡町387

天喜4年(1056)八幡太郎義家の創建と伝えられる八幡宮。この境内のすぐ西側に「縁切稲荷」で知られた「門田稲荷」がある。いところから「縁切稲荷」と呼ばれるようになったかはわからないが、今も残っている絵馬を観ると相当ご利益があったことがうかがえる。



まちなか案内拠点

太平記館

伊勢町3-6-4 ☎43-3000 WC

50台

9:00~17:00(年中無休)

観光案内所、お土産コーナー、無料駐車場が揃う足利の観光拠点。レンタサイクルもある。



足利まちなか遊学館

通1-2673-1 ☎41-8201 WC

9:00~17:00(第3月曜休館)

足利の伝統産業である織物関係資料の展示や、観光情報地域イベント情報などを提供。その他、手織り体験や地場産業製品の販売。



足利織物伝承館

通3-2589 足利織物会館2F WC

22-3004

10:00~16:00(月曜休館日)

足利の織物産業の歴史や資料、ボスター、足利銘仙を展示。足利織物の過去から現在を辿る。



足利商工会議所 友愛会館

通3-2757 ☎21-1354 WC

70台 ☎10:00~18:00(年中無休)

足利のまち歩きの起点。無料駐車場、地場産品販売コーナーあり。

●ギャラリーカッサ

銀行の金庫室を改装したギャラリー。(入館無料)

●足利まち歩きミュージアム

足利の偉人、歴史、観光、企業とまちの成り立ちを紹介。(入館無料)



☎…住所 ☎…電話番号 P…駐車場

☎…営業時間等 WC…トイレ

鳴石

小俣町地内

大同3年(808)、50日間鳴動し続けた鳴動山(現在の石尊山)を踏破した円仁(後の慈覚大師/当時は小野寺・現在は岩舟)が岩山に登り始めると目の前の大岩が鳴動した。するとそばにいた猿たちがその岩を谷へ引き落としした。その時美しい声と石仏に文字が浮かび出て…。



恵性院・笛吹坂伝説

小俣町1493

小俣町の小さな坂の途中にある恵性院に残る恋の伝説。昔、鶏足寺の末寺明月院に修行にきていた信光という美少年が吹く笛の音とそれに合わせるように琴の音。寺の西側に住む大川家の娘「菊江」の琴であった。やがて二人は愛し合うようになったが…。「稚子の碑」が境内に今も残っている。



鶏足寺

小俣町2748

平将門が朝廷にそむいておこした「天慶の乱」に対して討伐に向かった藤原秀郷軍は大吾戦。この時に将門調伏の勅命を受けた世尊寺の常祐法印が経夜ぶつ通しで祈った7日目の未明、秀郷が将門の首を打ち落としした。この功により勅命で寺名を鶏足寺に改めたという。



行道山浄因寺

月谷町1579

和銅7年(714)、行基上人の開基と伝えられる浄因寺。さらに中興の開祖は傳仙和尚といわれる。修業中の傳仙が行道山の山頂に突然紫色の雲がたなびくのを見て、「長年さが求めていた雲地に違いない」と傳仙はこの地に寺を創建した。これが浄因寺である。



